

2018年 月 日

### (臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 抗線維化薬（ピルフェニドン、ニンテダニブ）の投薬治療を受けた、間質性肺炎患者の栄養状態に関する調査研究

[研究責任者] 公立陶生病院薬剤部 中村直人（薬剤師）

#### [研究の概要]

間質性肺炎は徐々に肺活量が減少し呼吸困難をきたす慢性疾患で、抗線維化薬（ピルフェニドン、ニンテダニブ）の投薬治療により、病気の進行を緩やかにできる場合があります。抗線維化薬（ピルフェニドン、ニンテダニブ）の副作用には、消化器症状（食欲不振、悪心・嘔吐、下痢など）が高頻度で認められ、投薬治療を受ける方の栄養状態に影響を及ぼすと考えられます。低栄養は、疾患の治療において悪影響を及ぼします。

本研究は、抗線維化薬（ピルフェニドン、ニンテダニブ）を投与された方の栄養状態の情報を収集分析することを目的としています。

#### [研究の方法]

##### ●対象となる患者さん

対象は公立陶生病院で西暦2009年1月1日から西暦2017年9月30日の間にピルフェニドン（ピレスパ<sup>®</sup>）、ニンテダニブ（オフエブ<sup>®</sup>）の投薬治療が開始された方

##### ●研究期間：西暦2017年12月1日から西暦2020年3月31日

##### ●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、肺機能検査）、併用薬

##### ●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

#### [研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

#### [個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検

体や情報は、当院の研究責任者が責任を持って適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

薬剤部 中村直人

電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139